

# 「有床診療所防火対策自主チェックシステム」を活用した 防火チェックかんたんガイド

## 目的

平成25年10月に福岡市において発生した有床診療所火災(死者10名負傷者5名)では、『初期消火・避難誘導の未実施』や『防火戸未閉鎖などによる煙の充満』などにより多くの方が犠牲となり、改めて、『事業所における日頃からの効果的な訓練の実施』や『防火戸等の適切な維持管理の徹底の重要性』が認識されたところです。

それらの状況を踏まえ、有床診療所におけるソフト面での防火対策の一つとして、『有床診療所防火対策自主チェックシステム』を構築しました。

この『防火チェックかんたんガイド』は、『有床診療所防火対策自主チェックシステム』を活用した防火チェックの手順等について、解説するものです。

※自主チェック及びシステムへの入力については、事業者の任意で実施していただくものです。

## 防火チェックの手順

### 1 システム初期設定



→『有床診療所防火対策自主チェックシステム』の初期設定を行い、システム利用の準備を整えます。

### 2 防火対策について自主チェック



→『(簡易版)防火対策自主チェックリスト』(別紙)を参照し、事業所の防火対策を自らチェックします。

### 3 システムへの入力



→自主チェックした結果を『有床診療所防火対策自主チェックシステム』に入力します。

### 4 自主チェック結果の確認



→防火対策に漏れがないかを確認し、必要な改善を行ってください。  
※事業所のみでは改善方法がわからない等の場合は、消防をはじめ関係行政機関が連携し、必要なサポートを実施します。